

下線は新規

平成29年9月19日

南砺市長 田中 幹夫 殿

南砺市自治振興会連合会
会長 松本 久介



要 望 書

持続性のある故郷の実現に向け、南砺市の地方創生版とも言うべき「南砺幸せなまちづくり創生総合戦略」の実施や、公共施設等の見直しが行なわれているところですが、市内のどの地域においても、少子高齢化や人口減少をはじめとする様々な地域課題が山積しております。

このような中、「まちづくり基本条例」の主旨に則り、より良い南砺市を目指していくためには、自治振興会を中心とする住民自治組織の役割が非常に大きいと考えており、また平成31年度から全地域において小規模多機能自治の手法を用い、課題解決型の住民自治組織となるよう検討を進めております。

ついては、次の点について平成30年度予算編成、並びに市政運営に反映いただきたく格段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

1. 安全で安心な暮らしやすいまちづくりについて

市民が安全・安心で地域に暮らすためには、消防力の向上、防災対策の徹底、生活基盤となる道路網の整備や公共交通の確保が重要となってきます。

また、近年の異常気象による豪雨等の対策として、洪水調整機能を有するダムの整備、流下能力を高めるための河川の浚渫、雑木・雑草の除去や改良が必要となっています。

生活基盤となる道路網の整備については、中京圏と北陸を結ぶ東海北陸自動車道が安全に通行できるよう、早期の4車線化が望まれています。

さらに、通学路の安全対策や道路整備、安全な交通を確保するための維持管理の徹底などを進めることが必要となっています。

そして、高齢者の交通手段の確保として各種バスの運行、防犯対策の強化にも事業実施を期待しております。

このことから下記の項目について積極的な対応を図りたい。

(1) 消防力の向上 H28-058-001 総務課 防災危機管理係

消防ポンプ車や耐震防火水槽、屯所をはじめとする消防施設等について、整備・更新の促進を図ること。

- ・消防ポンプ車の更新の促進
- ・効率的な出動に向けた、屯所の整備（福光分団、平方面団、上平方面団、城端理休分団）
- ・消火栓案内設置看板の全市的な整備
- ・耐震防火水槽が不足する地域への設置を進め、等しく地域全体のバランスある防火水槽の増設

(2) 災害防止対策 H28-058-002 建設課 道路河川維持係

各地域における浸水対策の取組を進め、早期に対策の効果が発揮されるよう取り組むこと。

- ・豪雨対策として、普通河川における浚渫や雑木・雑草の除去の実施、および管理者への要請
- ・防災資材（土のう、充填用砂）備蓄箇所の周知及び利用方法の訓練実施
- ・雨量等による通行規制がおこなわれる国道について、引き続き対策工を実施され、規制の見直しに向けた取組みを管理者に働きかけること。

(3) 河川改修 H28-058-003 建設課 道路河川維持係

近年、大雨特別警報が発令され、大規模な土砂災害が発生する事例が多く見受けられます。

南砺市土砂災害ハザードマップに掲載されている区域内水路における普通

河川の改修要望については、「生活基盤整備事業補助金により整備されたい」との回答であるが、補助率は40%、補助上限額が40万円であり、水路断面、整備延長等により地元負担が大きい。同じく市単独土地改良補助の排水路整備にあっても、水路断面、整備延長により地元負担が莫大となる。普通河川、法定外公共物の水路改修について、流域条件、整備断面等整備事業規模による補助率アップ等見直しを図ること。該当箇所は、子どもが集まる通学路や観光客が集まる場所でもあり、対応をお願いしたい。

(4) 防災サイレンの復活 H29-038-001 総務課 防災危機管理係

従来朝6時または7時の音楽を鳴らしていた地域の内、希望する地域にあつては、防災サイレンの復活を要望します。

(5) 砂防事業や急傾斜地対策事業等の促進 H28-058-004 建設課 道路河川維持係

土砂災害警戒区域の指定を受けた溪流について、砂防・治山事業による山間部の土石流等の対策がとられるよう要望を進めること。

(6) 利賀ダムの整備 H28-058-005 建設課 道路河川維持係

近年多発する災害から庄川流域30万人の生命・財産を守る利賀ダムの整備促進や、「国道471号利賀バイパス」の整備を含め必ず完成するよう工事の促進を求めること。

転流工進入路工着工から13年後の完成と聞いておりますが、工事用道路及びダム本体工事の整備促進を図り、一日も早く完成するよう関係機関に働きかけること。

H28-058-006 建設課 道路係

(7) 東海北陸自動車道の4車線化とアクセス道路の整備促進

東海北陸自動車は、今般、関係各位のご努力で、城端～小矢部JCT間の付加車線整備に着手されることになりましたが、これらの整備促進とトンネルを含めた完全4車線化の整備について、関係機関に要請されますよう要望します。

また、南砺スマートICのアクセス道路である川崎橋の架け替えを含む福野市街地～安居地内については、一部用地買収等に着手されておりますが、更に整備促進するよう県等関係機関に働きかけること。

(8) 城端スマートインター開設の早期実現 H28-058-007 建設課 道路係

クリエイタープラザオープンに伴い、桜ヶ池周辺の利用者の増加が見込まれることから、城端スマートICの開設を早期に実現すること。

(9) 市道・都市計画道路の整備計画 H28-058-007 建設課 道路河川維持係

現行の「南砺市安全・安心な道路整備5箇年計画」の進捗状況を検証し、平成30年以降の計画策定については、自治振興会と協議すること。

H29-038-002 建設課 道路河川維持係

(10) 八乙女トンネルの開設を含めた（仮称）八乙女連絡道の整備構想

八乙女トンネル開設を含めた（仮称）八乙女連絡道の整備構想の具体化を国道471号線整備促進期成同盟会の事業計画に載せて頂きたいと要望します。

(11) 安全なまちづくりのための市道整備および除排雪

消防署再編により南砺市では2署所体制となり、安定的な消防体制と消防力強化、機動力向上を期待していますが、それに即した道路網の整備も必要と考えます。到着時間が遅くなったことに、住民は不安を感じています。住民に不安のないようアクセス道路について、現実的に即した緊急ルートの整備を進めること。

今日の人口減少や空き家の増加・高齢化により、冬期間における生活道路の確保が困難となってきた。地域ぐるみ除排雪による小型除雪車の導入を進められているが、地域によっては、オペレーターの確保が難しく、更に地区の人口減少により、機械の維持管理負担の増加も問題になってきている。消雪装置設置など、計画策定にあたっては地元の意見を反映すること。地域の建設業は、冬期道路除雪や災害時の対応等地域の安全・安心を支える重要な役割をはたしているが、年間の仕事量の減少によりオペレーター不足が深刻となっている。このことに鑑み、待機費用など除雪作業環境の改善を図り、除雪体制の支援をお願いします。

(12) 市道等の管理 H28-058-011 建設課 道路河川維持係

安全標識や案内標識の劣化、撤去後未整備の箇所が多く整備等を行うこと。

「市道クリーンアップ事業」の補助金算出基準について、世帯数により算定されているが、村部と市街地では、世帯密度が大きく異なることから、算出根拠の見直しを含めた実効性のあるものに検討すること。

山間過疎地域については、引き続き草刈り作業応援隊での集落作業支援や住民共同活動応援事業、さらには時代の変化に応じた新たな支援策を要望します。

H28-058-015 建設課 道路河川維持係

(13) 山間地域の市道・林道の安全確保と環境保全について

主要な市道・林道や遊歩道に隣接した山林には、枯損木や支障木（いわゆるよりかかり木）が多くあり、事故の発生を防止するためにも、パトロールの徹底とともに事前除去を実施すること。

また、エコビレッジ政策と関連し、里山の整備、管理を進め、間伐材の適

H28-058-015
農林課 林政係

正利用の促進と共に山地災害のない自然環境の保全政策を推進すること。

(14) 防犯対策の推進 H28-058-017 市民生活課 生活安全衛生係

地域で、安全安心に暮らす上で防犯対策は欠かすことのできない要素であることから、事件の発生を未然に防ぐための防犯カメラの設置について、設置基準の明確化と計画的な整備を進めること。

また、高齢者の振り込め詐欺被害等が社会問題になっていることから、消費者安全確保のための施策を推進すること。

(15) 鳥獣被害対策の推進 H28-058-018 農林課 林政係

イノシシ、クマ、ニホンザル、シカ、カラス、サギなど野生動物が年々頻繁に出没し、農作物への被害や人的危害を与えるなど、住民の安全な生活が脅かされている。このことから駆除する際の助成金や人的労力を含めた有害鳥獣被害の抜本的防止対策を図ること。

2. 地域活性化の支援策について

南砺市では少子高齢化や人口減少が進んでおり、それに起因して空き家、空き店舗の問題も出てきており、地域の活力の低下に繋がっている。このような現状の中、小規模多機能自治の推進を進め、市内各地域の活性化が市全体の活性化及び課題解決を推進することが求められている。また、市内には様々な観光資源も数多くあり、そのさらなる活用と近隣市町村からの来訪者が増えることが望まれている。

このことから、下記の項目について積極的な取り組みを図りたい。

(1) JR 城端線の活性化 H28-058-020 地方創生推進課 交通政策係

北陸新幹線開業により関東方面からの観光客が JR 城端線を利用することが多くなったことから、JR 城端線新高岡駅のホームを二つ確保できる島方式に改善すること。

H28-058-022 地方創生推進課 交通政策係

また各駅に下車した城端線利用者が容易に観光目的地案内サービスを受けられるよう、土日を含む観光案内機能の強化を図ること。

あわせて、城端線の揺れの著しい区間の保守管理の徹底と、城端駅への関東・関西方面等各駅への切符が買える、オンライン券売端末機の設置を JR に要望すること。

H28-058-024 地方創生推進課 交通政策係

城端発 7:28 分高岡行は、1 両編成のため満員で乗れなくなることがあり、2 両編成に増強されるよう要望します。また、このような満員乗車に対応可能な、ロングシート車両の導入又は改善も要望すること。

H28-058-025 地方創生推進課 交通政策係

北陸新幹線の新高岡駅の夜間の乗り継ぎ時間が長く、利用しづらい状況にあり、ダイヤの改正を働きかけること。

城端駅の拠点化事業が進められていますが、トイレが暗く観光客が利用し

H29-038-003 交流観光まちづくり課 交流観光係

づらい状況なため、改修を要望する。

(2) 公共交通の確保および交通体系の見直し

H28-058-026
地方創生推進課
交通政策係

平・上平地域では、世界遺産バスの運行に伴い、病院への通院時には城端駅での乗換えが必要となった。また、バス車両が従来の低床タイプから観光バスタイプとなったため、乗降時に高齢者が苦慮している。乗降の利便性が改善された車両導入を図ること。

H29-038-004
地方創生推進課
交通政策係

南砺金沢線バスについては、北陸新幹線開業の最大のメリットを引き出す上でも、利用促進を図ること。バス路線が新設されたにもかかわらず、バス停が適切に設置されていない箇所には新設を要望する。(井波高瀬地区、法林寺温泉)

(3) 観光資源の有効活用

H28-058-029
文化・世界遺産課
世界遺産・文化財係

北陸新幹線効果にあわせ、世界遺産五箇山合掌集落をはじめとする南砺市の観光資源の有効活用を図られたい。特に世界遺産五箇山合掌集落には、茅場造成などの維持管理に対し支援いただきたい。

H28-058-030
建設課 道路係

合掌の里において、高速バスや世界遺産バスが乗り入れるための市道は、大型バスが進入するには困難な箇所がある。南砺市交流観光まちづくりプラン（平成25年度～34年度）における「パワーオン事業」として、「五箇山合掌の里」のリノベーションを図り、バスターミナル利用等が計画されており、道路改良も合わせて行なっていただきたい。

H28-058-031
地方創生推進課
交通政策係

また、国道156号沿いの「合掌の里」、「五箇山菅沼」の二つのバス停に当面の対策として屋根付き施設の設置を含めバス停の整備を行っていただきたい。

H28-058-032
交流観光まちづくり課
交流観光係

インバウンド効果を活かすため、主要駅、観光地、観光施設案内標記等の外国語標記の順次整備をお願いしたい。

H28-058-033
交流観光まちづくり課
交流観光係

石川県境に位置する医王山麓観光施設については、金沢側から市への入口といった立地を有効に活かすために、施設の充実、環境の整備、市内の温泉とあわせた広報などによる利用促進に取り組まれたい。

H29-038-005
交流観光まちづくり課
交流観光係

また、城端曳山祭がユネスコ無形文化遺産登録となり、世界遺産の平・上平の合掌集落、さらには日本遺産の登録を目指している井波彫刻、棟方志功ゆかりの福光美術館を周遊できるような観光支援や観光戦略に関する検討組織の設置や助成金の在り方に取り組まれたい。

(4) 空き家、空き店舗の有効活用と危険空き家除却への支援

H29-038-006
南砺で暮らしません課
定住空き家対策係

昨年度から実施されている空き家調査により、市内には空き家が1000軒程度あると聞いており、空き店舗を含めると相当数にのぼります。また、高齢化等に伴い今後も増加する傾向にあると思われ、空き家の有効活用と危

H29-038-010
南砺で暮らしません課
定住空き家対策係

険と思われる空き家への対応は重要度が増してきている状況です。これらことから空き家、空き店舗の活用等や、空き家の除却等について更

なる支援をお願いします。

(5) 小規模多機能自治の推進への支援

H29-038-007

南砺で暮らしません課
協働のまちづくり係

急激な人口減少や地域活性化のため、各地域で平成31年度からの小規模多機能自治の手法を用いた課題解決型住民自治組織のスタートを目指しておりますが、住民自治組織で検討していく上で、市当局の具体的な方針の提示も必要としております。市当局での横断的なプロジェクトチームを整備するなどし、市が地域へ求める事項や人員面等での予算配慮を提示していただきたい。

また、公民館など拠点施設の無い地域もあることから、拠点施設確保をお願いします。

3. 地域での支え合い体制、地域包括的活動の活性化

H29-038-008

地域包括ケア課
長寿介護係

地域で暮らし続けるためには、生まれたときから介護が必要となる時まで、地域内での支え合いが大切となっています。地域内での支え合える体制を進めるにあたり、地域全体での包括的な活動の活性化が重要となっております。

今後の高齢者や子育て支援など、地域内で支え合える体制の充実について、自治振興会としてもその役割をどこまで担えるか検討していますが、高齢者の通所型サービスBや週一サロンの開設など、住民主体による要支援者を含めた自主的な通いの場づくりを市としても各地域に広めていくと共に、現在活動している団体へのサポートを求めたい。

4. 子育て・教育環境の充実について

元気で活気ある南砺市の実現には、妊娠、出産、保育、義務教育、高等教育のどの時期においても、充実した子育て環境が求められています。地域で出産することができ、充実した子育て環境が整備されることで地域の魅力が高まり、安心して子育てができるものと考えます。

このことから、下記の項目について積極的な取り組みを図られたい。

(1) 妊娠から出産、そして子育てまで、安心して生み育てることのできる環境の整備

H28-058-038

医療課
要望担当係

地域医療を担う開業医が少なくなっており、特に産婦人科医や助産所がないことが、妊産婦が安心して生み育てることができない一因となっています。南砺市内で、安心して出産でききよう長期的な取組みを求めます。

また、共働き夫婦の増加もあり、幼児教育時の負担が高いことから、少子化問題に対応した子育て支援策をより推進していただきたい。

(2) 地域での子育ての拠点となる児童館等の学童保育時間の延長

H28-058-039

子ども課
子育て支援係

地域で暮らし子供を育てる上で、児童館・学童保育・放課後児童クラブの利用しやすい運営時間等は大変重要な要素となります。

地域によって学童保育の時間が短い地域があり、共働き家庭からは、利用

時間の延長も求められています。

このことから、地域における学童保育の時間延長に取り組むこと。

(3) 小・中学校一貫教育の推進

H28-058-042
教育総務課
学務係

少子化に伴い、児童生徒の減少に歯止めがかからず、小・中学校ともに複式学級による学級編制を余儀なくされる状況となっています。

昨年度施行の改正学校教育法で新たに規定された「義務教育学校」の実現に向けて積極的な検討をお願いします。

(4) 小・中学校の複式学級解消

H28-058-043
教育総務課
学務係

学校は地域活力の源です。小・中学校の複式学級を解消する関係規則の改正などを国・県に働きかけていただき、小規模小・中学校の学習環境整備に格段のご配慮をお願いしたい。

(5) 南砺福光高等学校、平高等学校の存続

H29-038-009
教育総務課
総務係

前期の高校再編の統括も充分でない中、後期の高校再編計画を早急に進めようとしている。今回の高校再編は、小規模校を対象に強引に進めようとしている気がしており、県民の意見・理解を得ていないのではないかな。

その中で南砺市は南砺福光高校、平高校の2校について県立高校再編の対象校とされているが、小規模校というだけで再編するのではなく、充実した教育環境を整えるのが教育行政の役割であり、再編は許されるものではない。

また、県教育委員会が「子どもファースト」の観点から大規模校に再編しようとしているが、県が今すべきことは、小規模校の更なる魅力化、活性化を市と一緒に検討し実行することであり小規模校という選択肢を無くすことではない。魅力化のためには、例えば福光高校における中国語教育、砺波ブロックにおける土木科の復活開設など特色のある高校について検討していただきたい。

最後に、現在地方創生戦略の推進を進めているおり、高校が無くなるということは、地域の活力もなくなり地方創生に相反するものであり許されるものではない。市としても2校の存続について県教育委員会へ提言することを要望する。

5. 散居村景観の保全と市街地の活性化

南砺市は、四季折々に変化する水田と屋敷林に囲まれた点在する家屋が織りなす素晴らしい散居の景観がある。これらを後世に永く継承していくために、保全する区域と調和する区域の整理や住民協力の手法などについて調査検討されたい。

一方、市街地では、近年隣接市等による商業開発が進んだことに伴い、街がだんだん活気を失いつつある状況にあります。については南砺市と連携協定を結ばれている大学の協力を得て、街の現状や活性化に向けた方策など、隣接市に負けない特色

H28-058-044
建設課
農林施設整備係

のあるまちづくりを官民連携して取り組まれない。

6. その他

H28-058-046
行革・施設管理課
行革推進係

(1) 庁舎の統合

庁舎の統合については、これまで各地区の地域審議会や住民説明会で、「意見を聞きおく」形で行なわれたのみで、その後は議会の全員協議会での議論に移っておりますが、市長が一定の方向性を示された段階で再度、自治振興会を窓口とした住民説明を行なわれるよう要望します。

統合庁舎の建設計画にあつては、コスト面だけで判断せずに、防災の観点、まちづくりの観点、将来の広域連携の観点からも検討されるよう要望します。

(2) 公立病院のあり方

公立病院のあり方については「病院改革プラン策定委員会」で策定されたところではありますが、今後の病院のあり方について市民の意見を十分に聞き、意見を反映させた上で進めるよう配慮願います。

(3) 公共施設再編計画

H28-058-048
行革・施設管理課
施設再編係

公共施設等の再編は必要な取り組みであると考えているが、その推進により、市の魅力が喪失し人口流失が加速化することが無いよう慎重に取り組みを進められるよう要望します。

実施にあたっては、関係住民と十分な協議を行いすすめるよう要望いたします。